

麻生多摩美の森だより

第7号 2004年12月20日発行 発行；麻生多摩美の森の会

発行責任者；勝田 政吾 編集者；木村 信夫

木と友だちになろう 2004年 植樹祭&収穫祭

実行委員 間野 洋

3年目を迎えた今年は、森を育てるという本来の目的に沿って「木と友だちになろう」というテーマで、10月11日準備委員会を立ち上げスタートしました。特に新しい企画として、多摩美の森に自生している主な樹木の調査を行い、その樹木の名札付けと、“木の葉の写真集”制作をとりあげました。樹木調査は高橋 英先生（自然観察指導員、東百合丘在住）のご指導のもと、29本の代表木を選び、その中の23本に名札を付ける事としました。

名札は、堅い山桜の倒木を加工、担当者はサンダーかけやラッカー塗りなど悪戦苦闘のうえ、自然の味わい豊かで芸術的な作品に仕上げました。また、写真集は作成者の感性がうかがえる秀逸な作品となりました。



当日はすばらしい好天、まさに小春日和で、140名の参加者を迎えて、楽しく有意義な一日を過ごす事が出来ました。

植樹は、5班に分かれて広場の小道沿いを中心に、余り大きくならない、ツツジ類などを中心に20本植えました。樹木の観察は、各班のリーダーが、担当エリアの樹木の説明をし、それぞれの木の葉を採集。最後に各班の代表が木に名札を付けて終了しました。

収穫祭は、“多摩美みどりの会”の奥様方のご協力をいただき、健康の森の畑でとれた里芋を使った豚汁、さつま芋の焼き芋を全員でおいしくいただきました。“木の葉スタンプ”作りは最後まで子供達で超満員。お土産コーナーでは、初出品の小麦粉があつという間に完売となりました。

反省点もありました。会員各自の樹木の学習不足、たき火とゴミ処理等が今後の課題として残ったように思います。



森は、普段感じない光と風を全身で感じる場所です。森と光と風、木々と友だちになることで、人の感性は磨かれ、こころ豊かになっていくと信じています。5年後、10年後の“多摩美の森”の成長を楽しみに、今後も楽しく活動を続けていきたいと思います。



❖❖ 植樹祭にさんかして ❖❖

3年 渡辺 真梨壺

私は、植樹祭の時、ゴミをひろったり木を集めたりしました。その次になえを植えました。そのときうめる場所に、竹があったのでやりにくかったけど、おじさんたちが思いっきり力を入れてほったので、とれました。

植えた後、回りに土手を作ると、水をあげた時に回りにこぼれませんでした。それを見て、いい事を教えてくれたなと思いました。

葉っぱのスタンプを作ってから、昼食を食べました。たき火の中でやいたおいもは、とてもおいしかったです。森でとれた里いもをにたけんちん汁は、あったかくっておいしかったです。

幸せな気分になりました。またさんかしたいです。



スタンプきれいにできました！

子供たちが目をイキイキと

渡辺 真梨壺の母より

先日は親子共々大変お世話になりました。多摩美の自然はすばらしいですネ！ 植樹も、子供たちは目をイキイキとさせ作業をしていました。焼き芋、芋煮もとても美味しくいただきました。

子供たちは世話役の方が教えてくださる木の名前や鳥の名前を聞き、今まで以上に注意深く観察していました。

とても楽しいひと時を提供してくださり、本当にありがとうございました。来年もまた参加します！

小学校の“総合的な学習”へ協力

副会長 長澤 宗幸

10月22日 金程小5年生・麦の学習

5年生の79名を対象に、校内の実習室で麦をテーマに学習指導を行いました。健康の森からは、8名の会員が参加しました。

① 麦の種類の勉強

まず、麦の実物を見ながら、大麦、小麦、ビール麦の違いを話しました。大半の子供たちは麦の穂を見るのは初めてのようでした。そのあと、麦わらでストローを作りました。

食物の自給率

わが国の食物自給率がどのくらいなのか、グラフで学習してもらいました。総合自給率が40%しかなく、麦類が大変少ないことを説明しました。



麦茶を作る

火の取扱い、麦茶作りのやり方を説明の上、大麦で実際に挑戦してもらいました。

フライパンに、カップ3杯分の大麦を入れ、ガスコンロで10～15分焦げないように煎ってもらいました。

香ばしい匂いがしてきたところで、それを熱湯に入れました。大きなやかんの麦茶は、試飲によりまもなく空となりました。

麦焦がしの試食

各自カップに、麦こがし（はったいこ）を大きじ1杯と砂糖を入れ、よくかき混ぜて試食しました。次にお湯を注いで練り上げて試食、昔のおやつを体験してもらいました。

11月5日 西生田小3年生・そばの学習

この日、鮫島先生に引率された3年生19名が健康の森にやってきて、「そば」について、野外学習をしました。

このときは、健康の森会員とその家族、10名が参加しました。

① プロのそば作り見学

健康の森の近くのそば処“榎”で、原そばの粉引き、こね、そば切りの工程を見学してもらいました。最後に質問時間を入れて、30分の学習となりました。

② そばの刈り取り

健康の森のそば畑に入り3名1グループで、鎌を使って刈取りを行いました。危険を伴うので、会員が各グループについて、手をとって指導しました。



③ そばの実の収穫と観察

刈り取ったそばの茎から実を落とし、実の形を観察しました。その小ささと、黒くて三角になっているのに、皆驚いていました。そ

の後、実をすり鉢に入れ、すりこぎで砕き、白い粉と胚芽部分、殻に分けてみました。

④ そば茶の試飲

差入れのふかし芋とせんべいをお茶菓子に、そば茶を飲みました。多くの子供たちにとって、そば茶は新しい体験だったようです。

⑤ ウグイス笛を作る

篠竹でウグイス笛を作り1本ずつ持ち帰りました。どんな音色が出たことでしょうか。

⑥ 校内発表会

11/19の校内発表会に招かれ、5名の会員が参加しました。体験学習の成果や感動を、子供たちから聞くことができ、満足しました。

12月13、14日

西生田小5年生・森で野外学習

150人が2日2班に分かれて、野外学習を行ないました。歓迎の挨拶のあと、市民健康の森とは、人と森の関係、森の保全活動についてなど説明を受け、会員の案内で樹木ウォッチングをしました。

次に、カブトムシのお宿作り。落ち葉を集めて、あらかじめ会員が作っておいた竹枠に入れ、米ぬかと土を混ぜて、幼虫を放してやりました。

1時間半弱の短い時間でしたが、木々に触れ、充実した学習だったと思います。



●●●木は友だち - (1) ニワトコ●●●

黄葉した私の葉（奇数羽状複葉って言います）と青空のコントラストがとってもキレイだって、素敵なお友達が木の下に来て、何枚も写真を撮るものだから、だんだん恥ずかしくなって、風が吹いてきたから一緒に舞い降りてしまったの。ゴメンね。

えっ私、27番のニワトコ。里芋畑の北、竹藪の角にいます。多摩美の森の名木（？）29選に推薦して下さった高橋英さんは、私のこと、次のように紹介してくれていますよ。

——ニワトコは、春を呼んでくれる。芽吹き早いもの（2月末～3月）に、マユミやノイバラ等も見られるが、中でもニワトコは早々と若葉を広げてくる。

冬の芽を良く見ると2種類あり、太っちょの芽の中には、葉とブロッコリーのような花が包まれている。スマートな芽には葉と新しい枝になる芽（主芽）があり、その側にもう一つの芽（副芽）がある。主芽が何かにやられたときには、副芽がピンチヒッターとして成長するという、用意周到の木である。

4月ころ淡黄白色の花を咲かせ、7月ころには赤い小さな実をつける。赤い実は果実酒、幹の髄は顕微鏡観察の切片をスライスするピスに使われ、古木には食べられるキノコが生えて、ひと昔前までは、たくさんの恩恵をもたらしてくれた木である。——

私の仲間は、上の畑の両側にもいるから声をかけてくださいネ。



（文責・NK。高橋英さんのご協力で、木々のプロフィールを連載します。乞ご投稿）。

冬の活動予定 副会長 平林 謙三

そば・サツマイモ・サトイモの収穫に始まり、華やかな植樹祭&収穫祭をメインイベントに据えた秋の活動が終わり、静かな冬がやってきました。今年の冬は寒暖の起伏が激しいような気がします。風邪を引かないよう、十分体調を整え、活動に参加してください。

活動日と作業予定は次のようになります。

- | | |
|----------|--------------------|
| 1月 8日（土） | 新年の挨拶、草刈り、苗木・畑の手入れ |
| 16日（日） | 草刈り、苗木・畑の手入れ |
| 2月 6日（日） | 炭焼きの準備 |
| 20日（日） | 炭焼き |
| 3月 5日（土） | 草刈り、苗木・畑の手入れ |
| 20日（日） | 草刈り、苗木・畑の手入れ |

関係団体の行事

冬には、関係団体の行事があり、どなたでも参加出来ます。詳しくは事務局平林までお問合せください。(1)と(3)は、健康の森の交流会として、他区健康の森と共同で参加します。

- | | | |
|----------------------------|----------|-----------|
| (1) 第7回川崎市地球環境フォーラム | 1月24日 | 川崎市産業振興会館 |
| (2) 第3回市民健康の森フォーラム in さいわい | 2月19日 | 幸区日吉合同庁舎 |
| (3) 第3回市民自治創造・かわさきフォーラム | 3月12・13日 | 中小企業婦人会館 |
| (4) 第4回里山フォーラム in あさお | 3月19日 | 麻生市民館 |

広報編集室からのお知らせ

“麻生健康の森”のホームページ立上げを検討しています。しかしスキル、時間とも不足がちで、皆さんからのご協力を求めています。お手伝いいただける方、ご連絡をお願いします。

連絡・投稿先 木村信夫 044-954-7855 fwHP6921@mb.infoweb.ne.jp
森 正昭 044-951-1089 BYA15610@nifty.com